

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、県ではヨシの刈取り及びごみの回収作業を行うとともに、刈り取ったヨシをリサイクルすることで有効に活用しています。

さらに、県内の児童・生徒・一般の方を対象に、ヨシの刈取りや、工作を通してリサイクルを体験する機会を設け、児島湖の環境保全意識の高揚を図っています。

2 令和3年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

①ヨシの刈取り

区 域	面積 (m ²)	重量 (kg)
灘崎北七区	14,360.8	17,000
笹ヶ瀬橋付近	16,132.5	15,400
八浜・水鳥親水公園	1,531.7	1,500
合 計	32,025.0	33,900

②ごみの回収

分 類	可燃物	不燃物	合計
数量 (kg)	190	20	210

<ヨシの刈取り>



<ごみの回収>



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシは、果樹農園等でマルチング材*として活用しました。

また、刈り取ったヨシの一部を用いてヨシ紙を作成し、ヨシによる水質浄化作用の解説及びテナガエビのペーパークラフト台紙を印刷したものを児島湖流域の小学校・支援学校へ配布しました。

※マルチング材・・・土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材

再生利用の用途	ヨシの使用量 (kg)
ヨシチップ (マルチング材、土壌改良材)	32,700
ヨシ紙	1,200
合 計	33,900

<マルチング材として再利用>



<ヨシ紙で作成したペーパークラフト>



(3) ヨシの刈取り体験・工作体験

児島湖に親んでもらうとともに、廃棄物のリサイクルなど環境保全に関する関心を高めるために、ヨシの刈取り体験及びヨシを利用した工作体験を実施しました。

○ヨシの刈取り体験

①参加者

学校名	学 年	参加者数	備 考
津山工業高等学校 工業化学科	1 年生	35 名	刈取り後に、ごみの回収も併せて実施
興陽高等学校 造園デザイン科	1 年生	34 名	

②実施風景

〈ヨシ刈り体験を行う津山工業高等学校の皆さん〉



〈刈り取ったヨシの集積〉



〈ヨシ刈り体験を行う興陽高等学校の皆さん〉



〈散乱したごみの回収〉



○工作体験及び環境学習

①参加者

団体名	参加者数	体験内容
玉野市立大崎小学校 3, 4 年生	35 名	・環境学習（児島湖の水質、ヨシの働きなど）
玉野市立八浜小学校 5 年生	27 名	・工作体験（ゴム鉄砲、花瓶、ヒンメリ）

②実施風景

<ヨシの工作を行う児童の皆さん>



<ゴム鉄砲を制作した児童の皆さん>



<花瓶を制作している児童の皆さん>



<ヒンメリを制作している児童の皆さん>



【担当部署】 環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班